



スイス・リーのシグマ調査、「2012年の自然災害と人災」: 保険損害額は 770 億米ドル、経済的損害額は 1,800 億米ドルに

Contact:

Media Relations, Zurich
Telephone +41 43 285 7171

Lucia Bevere, Zurich
Telephone +41 43 285 9279

Thomas Holzheu, Armonk
Telephone +1 914 828 6502

Clarence Wong, Hong Kong
Telephone +852 2582 5644

Swiss Re Ltd
Mythenquai 50/60
P.O. Box
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121
Fax +41 43 285 2999
www.swissre.com

- 2012年の自然災害と人災による経済損害額は 1,860 億米ドルに達する
- 保険損害額は 770 億米ドルとなり、2012年は史上3番目の損害額を記録
- 米国の気象事象が保険損害のほとんどを占める

チューリッヒ、2013年3月27日 - スイス・リー・グループ(以下、スイス・リー)の最新の「シグマ」調査によると、2012年の自然災害と人災により世界が被った経済的損害額は 1,860 億米ドル、死者数は約 14,000 名にのぼりました。米国の大規模な気象事象によって 2012年の保険金請求総額は 770 億米ドルにまで押し上げられ、2012年は史上3番目に損害額の高い年となりました。しかし、この金額はアジア太平洋地域における地震と洪水によって、過去最高となる 1,260 億ドル超の保険損害額を記録した 2011年を依然として大きく下回っています。

2012年は米国の気象関連事象の影響が圧倒的に多い

2012年の損害は、米国の大規模な気象関連損害によるものがほとんどを占めました。2012年の最も高額な保険損害事故 10 件のうち 9 件までが米国で発生したものです。¹ 北米は保険普及率が高いため、同地域の経済的損害額 1,190 億米ドルの半分以上となる 650 億米ドルが保険によって補填されました。

スイス・リーのチーフ・エコノミストであるクルト・カールは次のように述べています。「米国の激甚気象関連事故によって、個人、コミュニティ、また企業の災害による破壊的被害からの復興を促進する保険の価値、および保険が果たす重要な役割が改めて認識されることになりました。しかしながら、世界でも極端な気象の影響を受けやすい地域の大部分は、保険の普及率が低いことから、保険による経済的補償に頼ることができませんでした」

ハリケーン・サンディは、経済的にも保険の上でも、2012年に最も大きな損害額を出した事象でした。このハリケーンが引き起こした経済的損害額は総額 700 億米ドルと推定されています。これは、2005年のハリケーン・カトリーナに次いで、史上2番目に大きな損害です。保険損害額は約 350 億米ドルで、そのうち 200~250 億米ドルが民間の保険でカバーされていました。

残りの保険損害は、全米洪水保険制度に発生しました。北米のハリケーンとして最大の風力域と、その結果引き起こされた巨大な高潮が米国東岸の人口密集地域に大きな損害を与えた洪水を引き起こしたからです。また、自然災害が原因となったものでは米国史上最悪の停電も発生しました。ハ

¹ 表 1 を参照



リケーン・サンディは、カリブ海地方も直撃し、北はカナダまで影響を及ぼしました。死亡者数と物的損害がさらに大きくなったのはこのためです。

スイス・リー・グループの最高引受責任者、マチアス・ウィーバーは次のように述べています。「サンディの史上最大の風力域と高潮は、保険業界に新たな課題をつきつけました。このような事象の頻度が増加したり、米国北東部のような人口密集地域を直撃したりする可能性があるならば、極端な高潮について、もっと徹底的に理解する必要があります」

本シグマ調査で提示されているシミュレーションは、2050年までに海水面が10インチ(0.25メートル)上昇した場合、²どのようにして、巨大洪水による損失の確率が2倍近くに上昇するかを示しています。これは保険業界にとって、現在は250年に1度と予想されている200億米ドルの保険損害事故が、140年に1度発生するようになることを意味します。³

農業の損害額は過去最高

米国では、記録的な暑さと極度に乾燥した気象状況によってこの数十年間で最悪の干ばつが発生し、全米の半分以上に影響が及びました。米国トウモロコシ地帯の深刻な不作によって農業保険損害額は、連邦の包括穀物保険(MPCI)制度からの支給額も含め、110億米ドルに達し、農業保険損害の過去最高額となりました。米国穀倉地帯におけるこの歴史的な干ばつによって、何千もの農家の経済的生き残りを支援する保険の経済的重要性が浮き彫りになっています。

イタリアでは過去最大の地震保険損害

イタリア北部で発生した、珍しい比較的弱い一連の地震によって16億米ドル超の保険損害が発生しました。これはイタリアで記録された過去最大の損害額です。この一連の地震の経済的損害は総額160億米ドルに及びました。スイス・リーの地震リスク責任者であるバルツ・グロリムントは次のように述べています。「多額であるとはいえ、保険金支払額はこの事象のコスト全体のほんの一部にすぎません。イタリアは、いくつもの地震源を抱えているにもかかわらず先進国中最も地震保険の普及率が低い国の一つで、地震リスクに対して高いエクスポージャーを持っています。

² これは、ニューヨーク州で最近実施された調査の範囲内です。

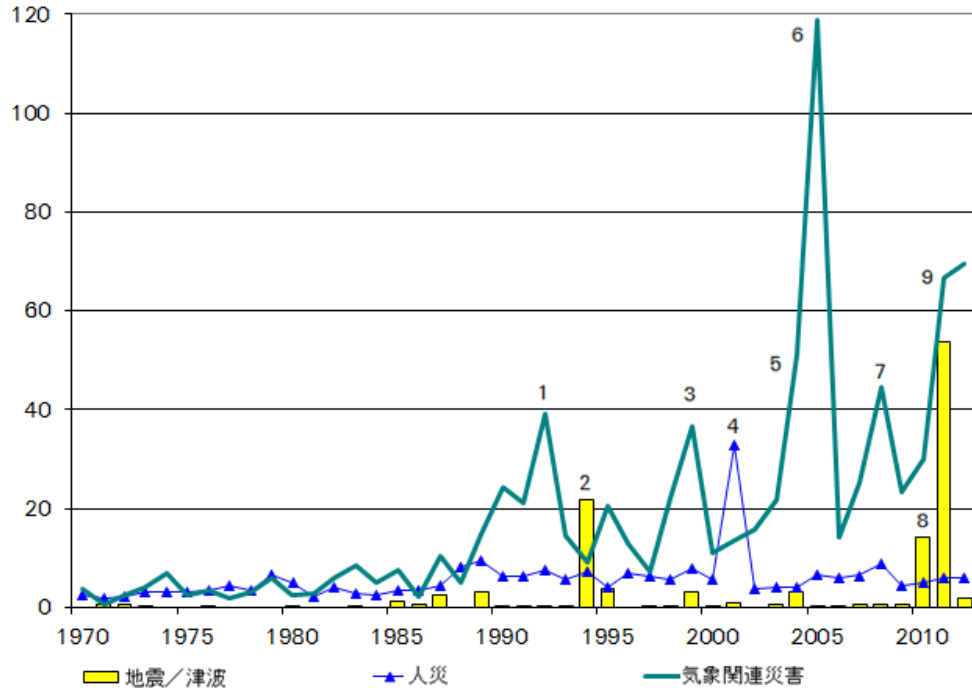
Horton, R. et al.(2011): 気候リスク。「ニューヨーク州における気候変動への対応: 気候変動に効果的に対処するための ClimAid 統合評価: テクニカル・レポート」、Rosenzweig, C. et al. (Eds.)ニューヨーク州エネルギー研究開発局、ページ 15-48

³ 図表 2 参照。



1970-2012 年の大災害による保険損害額

単位十億米ドル
2012年の物価水準



出展: スイス再保険会社経済調査・コンサルティング部

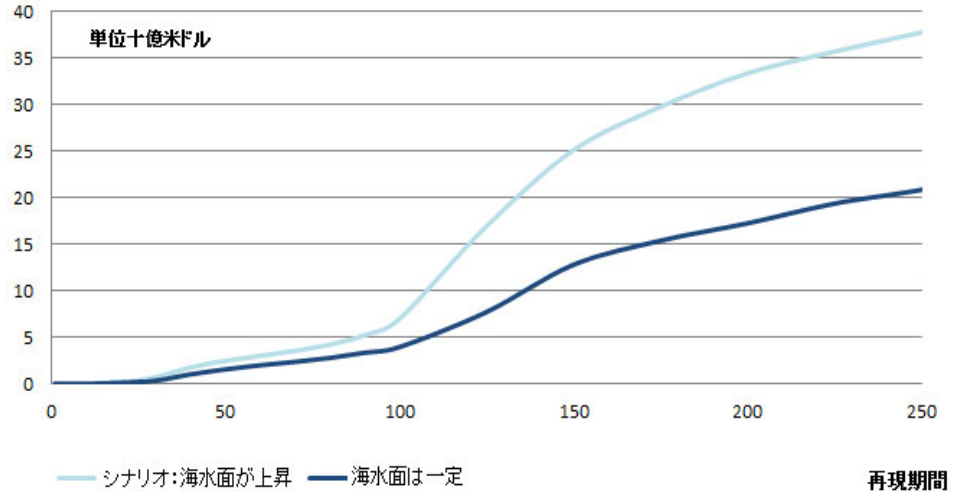
表1: 2012 年の自然災害による上位高額保険損害額

保険損害額 ¹				
	(十億米ドル)	日付	事象	国
1	35	10月/ 11月	ハリケーン・サンディ	米国(そ の他)
2	11	7月/ 9月	トウモロコシ栽培地帯の干ばつ	米国
3	2.5	3月	深刻な嵐、竜巻	米国
4	2.5	4月	深刻な嵐、竜巻	米国
5	2.0	7月	デレチョ(Derecho)の嵐	米国
6	1.7	5月	雷雨、竜巻、雹	米国
7	1.6	5月	マグニチュード5.9および5.8の地震	イタリア
8	1.6	8月	ハリケーン・アイザック	米国
9	1.0	6月	雷雨、竜巻、雹	米国
10	1.0	6月	雷雨、>竜巻、雹、洪水(ウィチタ)	米国

- [1] 損害保険および事業中断保険(賠償責任保険と生命保険を除く)
- [2] スイス・リーの推定。民間保険市場の損失額200~250億米ドルおよび全米洪水保険制度の損失額を含む
- [3] スイス・リーの推定。複数リスク穀物保険(MPCI)の損失を含む。
- [4] プロパティ・クレーム・サービスズ(PCS)より許可を得て引用
- [5] Perils AGの許可を得て引用。この推定は公表されていない。
- [6] スイス・リーの推定。全米洪水保険制度の損失額を含む。



海水面が 10 インチ上昇すると、200 年周期で発生する保険損害額は 170 億米ドルから 340 億米ドルへ増加する



出展: スイス・リー

編集者への注釈:

シグマ災害統計における定義と選択基準:	
自然災害	自然の力により引き起こされた損害事象
人災	人間の活動に関連した損害事象
自然災害による保険損害額	損害保険により補てんされた自然災害による損害
経済的損害総額	損害保険により補てんされていない災害関連の損害を含む損害額
最低選択基準:	
損害総額	9,110 万米ドル
または: 損害保険請求額	船舶: 1,830 万米ドル 航空: 3,670 万米ドル その他: 4,550 万米ドル
または: 被災者数	死亡または行方不明者: 20 負傷者: 50 家を失った人: 2 000



スイス・リー

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接またはブローカーを通じて、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界 60 カ所以上で事業拠点を展開しています。スタンダード & プアーズから「AA-」、ムーディーズから「A1」、A.M. Best から「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所に上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループについての詳細は、ウェブサイト(www.swissre.com)をご覧ください。また、または Twitter([@SwissRe](https://twitter.com/SwissRe)) でフォローしていただきますようお願いいたします。